

指導内容はあくまで基本的な内容です。学校種や学校環境（地理的条件、人口規模、自然環境等）に応じてさらに加える内容を検討する必要があります。

身の回りにおける危険を予測し、自ら回避する！

外傷から身を守る

1 けがや事故を防ぐために

「学校生活の安全」

- ・ 道具や遊具等の正しい使い方を知る
- ・ 道具を使うときは、周囲の安全に気を配る
- ・ 廊下や階段の正しい歩き方を守る
- ・ 雨天時の過ごし方を考える
- ・ 校内では上履きをきちんと履く
- ・ 学校の中で立ち入っては行けない場所を知り、ルールを守る

「運動時の安全」

- ・ 運動時は自分の体調に気を付け、無理をしない
- ・ プールや体育館、運動場での運動の仕方や器具の使い方を知り、安全に行動する

「熱中症の予防」

- ・ 熱中症が発症しやすい状況を知る
- ・ 体調管理や適切な水分補給など予防に必要なことを知る
- ・ 熱中症の症状と応急手当の方法を知る

「危険な場所や遊びについて」

- ・ 川や海、山、池等での危険を知る
- ・ 気象の条件によって発生する危険を知る
- ・ 動植物に起因する危険を知る
- ・ 火気を使用する場合の危険を知る  
(児童生徒等だけで火を使わない・初期消火の行動)
- ・ 釣りをするとき、船に乗るときはライフジャケットを着用する

「応急手当等について」

- ・ けがの種類と介助、通報の仕方を知る
- ・ 止血法、心肺蘇生法等の応急手当を知る  
(理論と実技 速やかな119番通報 AEDの手配)

犯罪から身を守る

2 犯罪被害にあわないために

「登下校時の安全」

- ・ できるだけ友達と一緒に登下校する  
(1人になる時間を短くする)
- ・ 防犯ブザーや防犯笛の使い方を知る
- ・ 登下校時に見守ってくれる地域の人を知る  
「学校安全ボランティア」  
「スクールガード・リーダー」等

「校内での不審者への対応」

- ・ 学校が定めた「不審者侵入時の緊急放送(合図)」を知る
- ・ 不審者侵入時の避難の仕方を知る
- ・ 指示をよく聞き、落ち着いて迅速に行動する

「校外での不審者への対応」

- ・ 自分の身を守るための約束を必ず守る  
(「いかのおすし」「おひなくこ」)
- ・ 地域の危険な場所(入りやすく、見えにくい場所)を知る
- ・ 危険を感じたときに逃げ込む場所を知る  
(「こども110ばんのいえ」等)
- ・ 事件や事故に遭ったらすぐ家族や学校に連絡する(速やかな110番通報)
- ・ 地域における犯罪等の情報を知る

3 家族で守る安全

「家族との約束」

- ・ 出かける前には行き先、帰る時刻を家族に伝えておく
- ・ 留守番をするときの約束を確認する
- ・ 友達の名前や電話番号等を知らない人から聞かれても答えない
- ・ 家に帰って玄関を開ける前に注意することを確認する
- ・ エレベーターに潜む危険を知る
- ・ 夜間の外出で注意することを確認する
- ・ 夜道を1人で歩かない
- ・ 周囲の状況を確認しながら歩く
- ・ 携帯電話を操作しながらの移動はしない

4 地域社会の一員として

「自分たちで守る、地域の絆」

- ・ 地域の人とのつながりを持つ
- ・ 地域・社会生活の安全を守る機関や地域の防犯活動を知る  
(自主防犯組織、防犯パトロール、安心Fメール等)
- ・ 地域の安全のために、自分たちにできる役割を考える